

第8回環境コミュニケーション大賞（環境活動レポート部門）

採点基準：旧 EA21(平成16年版)

評価基準 基本的に2 / 1 / 0、で採点する。小数点以下一桁も可。

1) 事業活動の概要 各2点 MAX: 10点

事業者名

- 「2」 事業者名のみならず事業活動の範囲がわかる、等
- 「1」 事業者名のみ、等
- 「0」 記載なし

所在地

- 「2」 本社所在地だけでなく、対象事業所所在地も記載、等
- 「1」 本社と事業所が別なのに1ヶ所のみ、等
- 「0」 記載なし

環境担当者と連絡先

- 「2」 担当者もしくは部署と、電話・ファックス・ウェブサイト等記載、等
- 「1」 部署名のみ、等
- 「0」 記載なし

事業内容の紹介

- 「2」 会社概要が書かれているもの、等
- 「1」 業種が分かる程度、等
- 「0」 記載なし

事業規模

- 「2」 製品別に、過去のトレンドと今後の見とおし等もわかるもの、等
- 「1」 単年度売上・生産高が分かる程度、等
- 「0」 記載なし

2) 環境負荷の低減 MAX: 45点

2-1 全般 各5点 MAX: 15点

評価項目の選択

- 「2」 事業内容に合致した項目が適切に選択されている、等
- 「1」 事業内容からみて重要な項目の一部がとりあげられていない、等
- 「0」 事業内容に合致した項目が選択されていない、等

目標に対応した取組み

- 「2」 掲げた目標を実現するに適した取組みとなっている、等
- 「1」 取組みと目標達成方法の整合性が必ずしも明確ではない、等
- 「0」 定性的表現に止まっている、等

目標と取組み

- 「2」 取組みには具体的なプログラム、達成期限、経営資源の配布等が明記されている、等
- 「1」 部分的に示されている、等
- 「0」 定性的表現に止まっている。

2-2 環境負荷項目 MAX: 30点

以下の項目については次の基準

- 「2」 過去の取組みおよび実績と目標が数値でしめされている、等
- 「1」 実績が不明確で目標のみが数値化されている、等
- 「0」 定性的表現に止まっている、等

二酸化炭素排出量 10点

産業廃棄物（非製造業では一般廃棄物） 10点

事業特性に応じた取組み 各5点 MAX: 10点

- ・資源利用量
- ・大気汚染物質排出量
- ・水質汚濁物質排出量

- ・化学物質の排出量・移動量
- ・その他の一般廃棄物
- ・その他

3) 環境保全に向けた取組み 各6点、MAX:30点

環境方針

- 「2」 法の遵守以上の自主基準を定めた環境方針がある、等
- 「1」 スローガンの方針を掲げている、等
- 「0」 ない、等

組織・体制

- 「2」 ISO もしくはそれに準じた EMS を構築している、等
- 「1」 EMS までにはいたっていないが、担当役員、部署等が定められている、等
- 「0」 なし、もしくはこれからの課題との記述、等

監査・点検

- 「2」 内部もしくは外部者による監査・点検がおこなわれ結果が記述されている、等
- 「1」 監査・点検が行われているとの記述、等
- 「0」 記述なし、等

グリーン調達

- 「2」 グリーン調達など、さまざまな取組みにチャレンジ、等
- 「1」 方向性のみ示されている、等
- 「0」 記述なし

その他の取組み

- 「2」 その他、さまざまな取組みにチャレンジ、等
- 「1」 方向性のみ示されている、等
- 「0」 記述なし

4) コミュニケーションツールとしての工夫 MAX:5点

- 「2」 双方向性のため、連絡先、担当等が明記され、ツールとしての工夫がなされている、等
- 「1」 工夫の余地が多い、等
- 「0」 コミュニケーションツールとしては捉えられていない、等

5) (環境以外での) 持続可能な発展への取組 MAX:5点

- 「2」 労働安全衛生、社会貢献や、地域との対話などパートナーシップ形成に努力していることの記載、等
- 「1」 今後の取組方針のみ述べられている、等
- 「0」 記述なし、等

6) 総合評価 MAX:5点